

米山奨学委員会担当例会

平成 30 年 11 月 14 日 (水)



米山奨学生
フランチーニ・エリーザ 様



カウンセラー
田村 彰敏 様



米山奨学委員会
森脇 祥文 委員長



幹事報告

Secretary

幹事報告 第 18 回 (通算 1792 回)

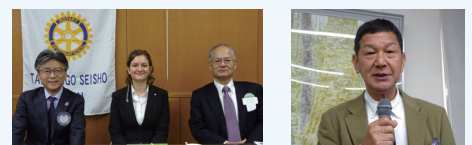
- 兵庫陶芸美術館より
特別展『やきものを分析する - 装飾編 -』の開催のチラシ
興味がある方は、回覧に招待券を入れてますのでお取りください。
- 加古川 RC より
例会変更のお知らせが届いております。
- 幹事より
12月5日、12日の例会は上半期事業報告となっております。
本日 BOX に分担表を入れていますが、日程の都合が悪い方は調整しますのでご連絡ください。



例会記録 2018.11.14 (水) 通算 1906 回

ソング	「奉仕の理想」「四つのテスト」		
出席報告	10月31日	会員数 43名 欠席者 7名	出席率 85.36% (修正による)
		(この内出席免除者 10名)	
	11月14日	会員数 43名 欠席者 11名	実出席者数 27名
		(この内出席免除者 10名)	出席率 71.05%

本日のゲスト
米山奨学生 フランチーニ・エリーザ様
カウンセラー 小野加東 RC 田村 彰敏様



「稽古とは 一より習ひ十を知り 十よりかへるもとのその一」
(利休百首より)



本日は、米山奨学生による卓話ということで、少し“米山”について触れてみたいと思います。

米山奨学事業は、日本のロータリーの父と言われる米山梅吉氏の功績を記念して発足。1967年に財団法人として設立されてから半世紀を超えた、民間では日本最大規模の奨学事業とされ、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源とする奨学金を日本で学ぶ外国人留学生に支給・支援しています。

その目的は、奨学生が将来日本と母国を結ぶ懸け橋となることや、国際社会で活躍する人材を育成することであるとされています。奨学金というと、一般的には経済的に厳しい学生に対する支援というイメージがありますが、米山奨学の場合は、それよりもどちらかと言うとロータリー運動の良き理解者として、また平和と国際理解の推進に貢献してくれることを期待しているものであります。また、他の奨学金にない特徴として、奨学生一人一人に対し、地域のロータリークラブが世話クラブとなり、世話クラブの会員の中からカウンセラーが選ばれ、奨学生の日常の相談役となる、心の通った支援を行っていることが挙げられます。

結果、米山奨学生たちは、ロータリアンとの交流を通じて日本の文化・習慣などに触れ、日本に対する理解を深めることになるのです。

「クラブでできる、例会でできる身近な国際交流」として、今後とも米山へのご支援をお願いして、この後のフランチーニ・エリーザさんのお話を期待しながら会長の時間を終わりたいと思います。

ニコニコ報告

Donation

大橋 卓司

本日は米山奨学生のフランチーニ・エリーザさんと、カウンセラーの田村彰敏様をお迎えしています。どうぞよろしくお願い致します。

田村 彰敏 会員 (小野加東R.C.)

本日は宜しくお願い致します。

志方 正昭

創業記念日のお祝いありがとうございました。

濱田 喜重

結婚記念日の御祝ありがとうございました。

田中 浩行・柿木 國夫・櫻井 宣孝
村上 則宏・青柳 淳・西中 亮
佐野 栄作・吉川 弘・庄司 武
澤田 孝彦・京谷 慎平

本日は米山奨学生 フランチーニ・エリーザさん、カウンセラー田村彰敏様をお迎えして。

阪本 徹也・伊藤 勝之
早退いたします。



◆ プログラム予定 ◆

11月 21日 (水)	ロータリー財団委員会担当卓話 榎 誠様	洋食弁当
11月 28日 (水)	ガバナー補佐訪問 好崎 泰州ガバナー補佐	幕の内弁当
12月 5日 (水)	上期事業報告	寿司盛合せ
12月 12日 (水)	上期事業報告 (前週のつづき)	海鮮ばら寿司

●●● 近隣クラブインフォメーションは、高砂青松ロータリークラブのホームページにてご確認ください。 ●●●

会長 大橋 卓司 幹事 青柳 淳 クラブ会報・広報・記録委員長 三枝 丈次

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町 1104 電話 (079) 443-0500